# 120508　第３回「国語教育法」講義感想

## タイトル集

○授業は１にも２にも３にも教材研究
○「授業をつくりあげる」ということ
○教材研究をなめるな！
○教材研究の第一歩は生徒を知ること！
○学習者の立場から見る授業
○教材研究とは
○教材を噛みくだいて生徒の心をキャッチ
○教材研究の本質
○No Love，No 教材研究!!
○おもしろい授業をつくるには
○千里の道も「教材研究」から
○教材研究における四つの段階
○一つの授業ができるまで
○学習指導案の骨組み～教育実習でパニックにならないために～
○教材研究の「いろは」
○魅力的な授業を行うために
○真の授業の作り方～生徒の実態を知る～
○教材研究を研究しよう
○生徒を理解へと導くプロセス作り～教材研究～
○変容する授業
○授業の取扱説明書
○まず相手（生徒）を知ろうよ
○「教材研究」は「生徒研究」から

## 感想集

1　●●

○授業の準備である教材研究の手順がこんなにあるなんて思ってもみませんでした。自分で考えることも多い分、自分が頑張って研究した分をすぐに授業に反映させられるので、やはりやりがいのある仕事なのだな、と思いました。教師は、専門職であり研究職でもあることを改めて実感しました。

2　●●

○「一つの授業をつくりあげる」という事にいかに多くの過程が必要かを知った。また、教材研究、生徒の実態、指導過程等様々な要素を詰め込んだ「授業」は教師が時間をかけてつくりあげる”作品”なのだと感じた。

3　●●

○教材研究について、作品論を学び、発問や板書の仕方を考えるということは、頭にあったのですが、生徒の実態を考えるということを見落としていました。学年だけでなく、その学校やクラスのレベル・状況に合わせて考えていくということは、簡単なようで難しい作業ではないかと思います。

4　●●

○今回、教材研究とは何かという質問に対して自分なりにいくつか考えましたが、まず第1に生徒について知るということは思い浮かびませんでした。生徒たちのレベルに合わせて、その生徒たちが理解できるように、楽しめるように、力になるように授業を構成することが大切だと思いました。教材研究の頑張り具合によって、授業は大きく変わると思いました。

5　●●

○「教材研究」という言葉を聞くと、取り扱う作品をいかに調べ尽くすかということに、躍起にな

ってしまうイメージでしたが、学び吸収する、授業の主役は「生徒」であることを示されると、その生徒の立場をよく理解した上で授業を作っていくことは、重要で当たり前のことなのだと気づかされました。

6　●●
○今日の授業でいちばん「おお！」と考えさせられたのは、「板書」というところでした。自分は中高が私立でホワイトボードだったため、チョークのあつかいが上手ではありません。黒板にきれいにすばやく板書できるか不安になりました。間違って黒板をつめでひっかこうものなら一大事です。教材研究では学習者観という言葉がありましたが、学習者に害を与えない板書をしたいです。

7　●●
○国語の授業というと、音読・語彙調べ・段落分け…など、自分が受けていた授業を思い浮かべてしまいますが、先生の経験した定時制高校の話を聞いて、本当に色々なスタイルがあっていいのだなぁと思いました。自分がおもしろいと思ったこと（先行研究など）を噛みくだいて、ぜひ生徒に興味を持ってもらいたいです。

8　●●
○「教材研究」は「教材を研究するだけ」であると思っていたが、そうでないことが分かった。「生徒の現状、最終的に身につけさせたい学力」は別場面であると思っていたため意外で、特にどう「評価・確認するか」ということが勉強になりました。

9　●●
○授業において教材研究がいかに大切であるかがわかりました。しかし、ただ作品を研究すればいいのではなく、まず生徒について考えてから研究していかないと良い授業にはつながらないと感じました。教材に対しても、生徒に対しても、愛がなければ授業は成立しないことを意識していきたいです。

１０　●●
○先週の感想に自分が高校の時は訳や文法に重点を置いた授業を受けていたと書きましたが、同じ教材を使っても生徒のレベルやニーズに合わせて、やることが変わると聞いて、授業づくりの難しさを感じました。自分が教育実習に行くときは、前もってしっかり準備して、生徒のニーズにあった授業をやりたいと思います。

１１　●●
○前回の授業の、他の人たちの書いたコメントと自分のコメントを見比べることで、自分の弱点を客観的に理解することができました。”おもしろい授業””生徒が参加できる授業”も、教材研究あってこそなのだ、と反省しました。

１２　●●
○「教材研究」という言葉から先に連想したことは、扱う内容とどのように教えるかということでした。しかし、生徒について考えるという最初の段階を聞いて、どうして自分はこんな当たり前のことに気づかなかったのかと思いました。相手（生徒）のことを知ることは、基礎中の基礎であり、これをしないと的外れな授業になってしまうだろうと予想されます。ただ逆に、この段階をしっかりしていれば、その後も比較的スムーズに進められるのではないかと思います。話を聞きながら、頭の中で教材研究をしている様子を想像しましたが、とてもワクワクしてきました。

１３　●●
○60～90分の授業一つのために、教師はこんな苦労をしていたのだと感じました。学校で行われていた授業には何一つ無駄なことはなく、全て生徒の学力を養うために組まれた綿密な計画があったのだと感じました。教材研究は単なる研究ではなく、誰か、何らかの対象に教えたり、伝えたりするための研究なので、責任重大だと思いました。教材研究をやり込んだら、そこらの研究者より博識になりそうです。いや、教師はそうありたいものですよね。

１４　●●
○中・高生の時は、定期考査で点数を取るために、先生が私たちに伝えなければならないこと（学習指導目標ですね）は何か、はっきりさせるために様々な方法を皆で考え、実行していました。授業を脱線させ続け、考査直前にあせって授業を進ませるというのが主でした。今日の講義でここまで先生方がよく練って準備なさってたのを思うと、非常に申し訳なくなりました。

１５　●●
○「生徒の実態」「作品考察」「指導過程」「評価の確認」等、全ては第二回の講義感想で峯岸さんがおっしゃっていた通り、綿密な事前準備こそが最も重要なのだろうと感じました。ただ予定通りに進むという事は普通はないでしょうし、先生のおっしゃっていた通り、臨機応変に、そしてそうありながらも本筋を見失わない技術と知識・見識の深さが必須なのだとも、再認識しました。

１６　●●
○教材研究に関する事柄だけでも、教師の考えることはやはり多く時間を要するものだと感じました。昔ドキュメンタリーで、小学校教員の姿を追った番組を見た記憶がありますが、子どもの起こすトラブルや親の対応などで夜になってもまともに作業ができない時もありました。教員の休まる時間は実際どれだけあるのだろうと思いました。

１７　●●
○自分が今まで考えていた、思っていた授業の作り方は、教科書を読み、その文の背景や文中の語句等も調べておき、生徒に問題を出して答えさせるというようなものだと思ったました。私が特になるほどと思ったのは、一番初めに生徒の能力などを考えるという部分で、どの学校でも同じようなことをやっているのだと思ってましたが、やはり生徒によって授業内容の調整は必要なのだと思いました。

１８　●●
○生徒に何かを伝えることがゴールだとすれば、教材について調べまとめたことを、板書や質問などで生徒をゴールに導く経路であるとあるでしょう。さらにその板書や質問を考える上で一番大切なことは、どんな生徒がいるのかであると思います。なので、生徒について考えることがスタートに来ることには、僕も同意見です。

１９　●●
○教材研究を行っていく上で”発問””板書”を考えていく必要性があると聞いて、自分が講師をしている塾でも同じことを大切にしていたため共通点を見つけて驚きました。塾講師をやっていても上手く教材研究を出来ていないため、教育実習がすごく不安です。１年かけて身につけていきたいです。

２０　●●
○同一のテクストを用いて授業を行ったとしても、まず授業する側の人間がどのようにテクストを解釈するかで、次に目の前にいる生徒の実態の違いで、授業内容が変わっていくのだなぁと改めて思いました。同じ授業は二度とない、と高校生の時の担任は繰り返し（言い訳のように）言っていましたが、目の前にいる生徒の違いで授業を変えていく必要があるのだと、今日の先生の話を聞いて思い、言い訳のようだ！と思ってしまい申し訳なかったなぁとこっそり内心で謝っておこうと思います。

２１　●●
○模擬授業も終わり、今回から本格的なに指導者の立場から授業を考えていくということで、今までの学習者としての授業とは全く異なる視点で物事を捉えるということが新鮮でした。特に、一番最初にすることが「生徒について考える」という点は、考えつかないことなので印象的です。生徒について考えた際に、授業についてくることができるスピードはそれぞれ異なると思いますが、授業のスピードを考えるにあたって基準などはあるのでしょうか。早い子にあわせるとついてこれなくなってしまう子が出てくるし、あまりにゆっくり丁寧にやっても、授業が進まないので、そのバランスが難しいと思います。

２２　●●
○50分間の授業の裏には、教師側の研究がこんなにもされていたのですね。高校生のころ、先生はプリントや訳の準備くらいしかしていないだろうと思っていました。こんなにも生徒（私たち）のことを考えてくれていたのか…。

２３　●●
○教材研究といえば、まずは取り扱う作品を読み、先行研究を調べたりすることから始めるのかとばかり思っていましたが、一番最初に、今、目の前にいる生徒について考えるという話を聞き、なるほどと思いました。生徒に合わせた指導過程を考えなければならないと思いました。